

国立全南大学校(光州)

長期留学報告書



学校正門



光州探訪ツアー（課外活動）



大邱ランタンフェスティバル

2018.3.1～2018.8.30

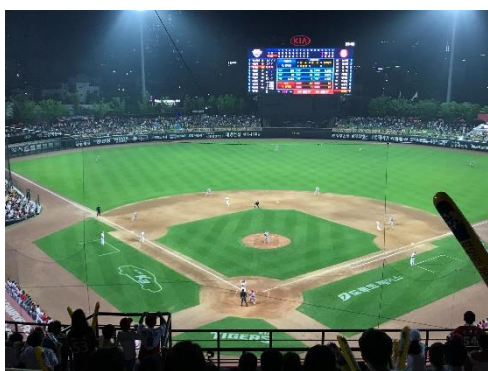
経済学部 経済学科

坂下結衣菜

留学先について

【国・地域】韓国・光州

韓国の6つの広域市の一つである光州広域市は、朝鮮半島の南西部、全羅南道の中心に位置し人口は147万人である。光州は湖南地方において経済・行政・文化の中心であり、美食の町としても知られている。光州を本拠地に置く KIA タイガースというプロ野球チームはシリーズ優勝11回を果たし、また光州にあるワールドカップ競技場は2002年 FIFA ワールドカップで会場となった。交通の面では、空港あり・KORAIL の駅あり・都市鉄道あり・高速バス、市内バスありとなっており、ソウルや釜山から距離は離れているが比較的アクセスは良い。また光州は5.18 事件という韓国最大の民主化運動の地として知られ、全南大学も学生デモの舞台となった場所である。光州事件は「タクシー運転手（2017）」という映画を見ると良く理解できるので留学する前にぜひ見てほしい。



KIA チャンピオンズフィールドで野球観戦



光州総合バスターミナル

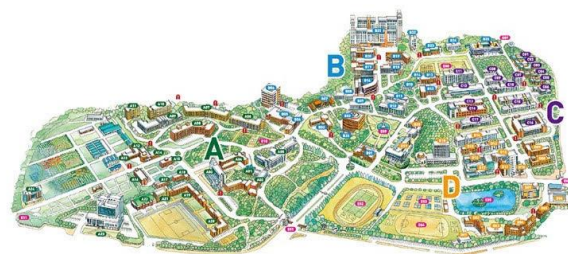
【留学先大学】国立全南大学校

1952年に設置され、光州キャンパスと麗水キャンパス合わせて学生数は約2万人、経済、経営をはじめ看護や薬学、芸術学部等20近くの学部を持つ総合大学である。敷地面積がとても広く、学外に出るには寮から徒歩15分くらいかかる。学校の回りは学生街となっており、色々な店が並び活気がある。運動場には近隣住民も集まり、常に人が多い。敷地内には色々な形態の学生寮があり、留学生が入寮するのは簡単だが、韓国人学生は成績が良くないとなかなか入れないとも言われている。勉強熱心な学生が多い印象だった。5・18事件の舞台ともなったことから、キャンパス内には記念碑や、跡地を巡るコースなどがあり当時の記憶が語り継がれている。



いつも人でいっぱいの運動場

용봉캠퍼스



キャンパス案内図

【専攻】経済学部・経済学科

授業は会計論や組織開発論、サービスマーケティング等、県大の経済学部の授業と同じようなものが多く、中間・期末試験の他にグループワークや発表で成績が付けられる。また授業はオール韓国語で行われる。私の場合、半年間の留学だったことや留学前は韓国語の能力が高くなかったので、留学生専用の語学の授業を中心に履修した。語学に自信があって韓国人の友達をたくさん作りたい方は、積極的にローカルの学生が履修するような授業に飛び込んでみるのも面白いと思う。

【留学期間】2018年3月1日～2018年8月30日（半年間）

3月	1日韓国入国、2日オリエンテーション（外国人登録証の申請：₩30,000） 5日授業開始、5日～12日履修登録修正、健康診断
4月	16日～20日中間テスト
5月	7日・22日休日、15日“先生の日”
6月	6日休日、18日～22日期末テスト、22日1学期終了
7月	夏休み
8月	夏休み、30日日本帰国

留学への経緯

高校時代に短期留学した経験があり、元々海外に行ったり外国の人と交流したりすることが好きだったため、大学在学中に今度はもう少し長い期間留学しようと考えていた。なぜ韓国を選んだかというと、高校時代から KPOP アイドルが好きで、韓国ドラマもよく見ていたため、字幕に頼らずに自分の耳で聞いて理解できるようになりたいと思ったのと、県大に留学していた韓国人のオンニ達と出会い、翻訳無しで彼女たちと会話したいと思ったからである。また日本から一番近い国でもあり、辛いものが大好きな私の場合は食べ物も口に合うと思ったからだ。

9 月末	留学についてのオリエンテーションに参加
10 月末	相談、正式決定
11 月	全南大学に交換留学生の受け入れ申請（オンライン）
12 月	海外保険加入
2 月	ビザ申請
3 月	留学スタート

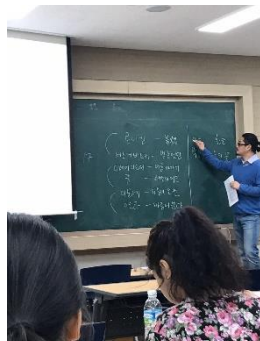
全南大学での学生生活について

【留学中の授業】

	時間	月	水	金	時間	火	木
3 限目	11:00~ 11:50	韓国語 話す聞く 2	韓国語 話す聞く 2	韓国語 読み書き 2	12:00~ 13:15		
4 限目	12:00~ 12:50	韓国語 話す聞く 2	韓国語 読み書き 2	韓国語 読み書き 2	13:30~ 14:45		
5 限目	13:00~ 13:50			韓国語 話す聞く 1	15:00~ 16:15	韓国語 読み書き 1	韓国語 読み書き 1
6 限目	14:00~ 14:50		韓国語 話す聞く 1	韓国語 話す聞く 1	16:30~ 17:45		
7 限目	15:00~ 15:50	韓国伝統 音楽の理 解					
8 限目	16:00~ 16:50	韓国伝統 音楽の理 解					
9 限目	17:00~ 17:50	韓国伝統 音楽の理 解					

上の表は実際に私が履修した時間割になっている。月水金は 50 分授業で、火木は 75 分授業になっており、週に 150 分履修するようになっている。敷地が広い全南大学では教室移動だけでかなり時間がかかってしまうが、私の場合はたまたまが履修した全ての授業が真理館という建物であったため、移動が不要なくラッキーであった。しかし寮から真理

館までは少し距離があるので、遅れないよう早めに寮を出るように気をつけていた。ほとんどの授業は出欠を取り、授業中に発表やグループワークがあった。またほぼ毎回宿題も出されるので、寮に帰ったらすぐ復習の意味も込めて宿題をするようにしていた。授業以外にも火木の夜 18 時頃から 1 時間半程度の韓国語講座があり、韓国語の理解を深めるだけでなく、授業が被っていない他の留学生との交流の場となっていた。この講座は希望制なので、事前に申し込みが必要である。



ナイト韓国講座のクラスメイトと ヘジン先生の授業 伝統音楽の授業での一コマ

【課外活動について】

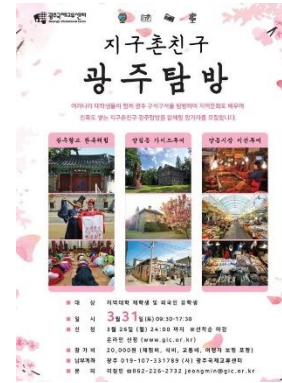
国際交流課や光州の国際交流センターが募集する活動に積極的に参加した。実際に参加したイベントとしてまず大学のもものでは、マレーシア Day というイベントに参加した。マレーシアからの留学生が、自国の文化や歴史を紹介し、実際に私もヒジャブを巻いてみたり、アラビア語を教えてもらったりした。元々マレーシアに関心があったが、このイベントに参加してよりマレーシアに興味を持ち、昨年 1 月に念願だったマレーシアに行くことができた。マレーシアにステイ中は全南大学で出会ったマレーシア人の留学生の友達と再会し、家を訪問したり一緒に観光したりして楽しんだ。また光州の国際交流センターのイベントとしては、“光州探訪ツアー” というものに春と夏の 2 回参加した。この活動では光州の観光地を巡ったり、韓国の伝統文化をたくさん体験し、またチーム対抗で色々なゲームをしたりした。光州の国際交流センターのイベントは全南大学の学生だけでなく光州在住の学生が集まるイベントなので、友達がたくさんできるととても良い機会だった。大学のイベントは基本自由参加だったが、光州の国際交流センターのイベントは完全に申し込み制（先着順）なので、行きたい人は早めに連絡するのが良いと思う。



餅つき体験



韓服を着て所作などを体験



実際の募集要項

その他の課外活動として日本人留学生 5 人で光州にある男子高校を訪問した。日本と韓国の文化をお互いに紹介しあって相互理解を深めたり、グループワークでは個人レベルで気になることなど色々なことを質問し合って交流した。交流会の後は高校内を見学したり、給食を食べることができとても貴重な経験ができた。期末テストと並行して高校での発表の資料作成を行うのは大変だったが、何回も打ち合わせを重ねるごとに日本人の留学生同士仲良くなれ、また交流会では高校生のリアルな意見を聞けてとても刺激になった。

その他にも全南大学の日本語の授業の特別講師として授業に参加したりと、課外活動も充実していた。



高校訪問



日本語の授業

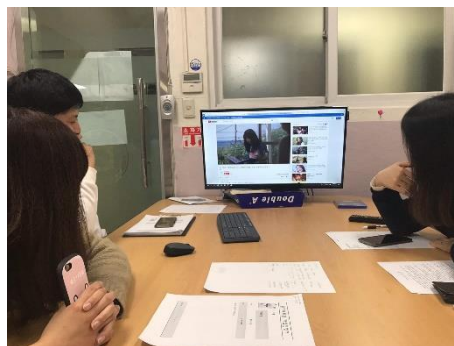
【バディ制度について】

留学生にはバディがついて履修登録やその他申請の手続き等を手伝ってくれる。そういった事務的なことだけでなく、普段からも連絡を取ったり定期的にご飯に行ったり、旅行に行ったりとバディのお姉さんには本当に良くしてもらった。困ったことがあれば相談に乗ってくれ、ローカルな情報もたくさん教えてもらい、最初は翻訳機なしでは会話もままならなかった私も、バディのお姉さんとの関わりを通して語学力がぐんと伸びたと思う。私のバディは日本語が副専攻だったが、基本日本人の留学生には日本語専攻の日本語がペラペラな学生や、日本に興味がある学生がバディになってくれるので、環境に慣れるまでは

とにかく安心だと思う。日本語サークルに遊びに行った時には他の日本人の留学生のバディとも仲良くなれたので、バディ制度は貴重な韓国人の友達と出会えるチャンスだった。



みんなで華金



日本語サークル

留学中の生活

【お金について】

生活費（月）・・・1万円

ビザ申請費・・・手数料3千円、名古屋までの交通費（往復）5千円

飛行機代（往復）・・・約5万円

（旅費トータル・・・約11万円）←海外旅行保険料等含む

寮費（6ヶ月）＋食堂利用費（夏休みまで2食／日）・・・約12万円

交際費、その他費用合わせ6ヶ月間のトータル費用・・・50万円

【語学について】

留学の申請に当たり語学レベルの条件はなく、現地で生活しながら身につけていった。留学前の私の韓国語のレベルは、ハングルが読み書きでき簡単な超基本の会話ならできるというレベルであった。しかし韓国人が実際に話すスピードでの聞き取りは難しく、ボキャブラリーも少なかった。そのため留学前から自分でやっていた勉強法としては、歌の歌詞を書き出して分からない意味を調べたり、バラエティーやドラマを見漁って会話のスピードに慣れるようにしていた。また朝鮮・韓国語の講師である李先生に協力のもと、講義前に30分ほど特別な勉強会を開いていただいて、韓国人がよく使うフレーズや日常会話などを教わった。勉強会以外でも個人的に連絡を取って、常に韓国語に触れるようにしていた。

留学中はルームメイトやクラスメイト、学校内外で出会った友達のおかげで語学レベルがとても上がった。初めは授業で先生が何を言っているのか分からず、聞き取るのに必死だったが、知らない単語に出会ったとすぐメモをして後で調べることを繰り返していくうちにボキャブラリーが増え、聞き取りも会話も翻訳機なしでできるレベルになった。また韓国人の友達や、先生、自分より韓国語が上手な留学生の会話を真似するように意識するよ

うにしていた。そうしていくうちにどんどん自信がついて、友達との会話はもちろん、町やお店で色々な人と会話を楽しめるようになった。

【手続きについて】

ビザは在日大韓民国大使館に行って D-2 ビザを申請する。申請に必要な書類は、全南大学の標準入学許可書、県大の在学証明書、証明写真等である。申請費は約 3 千円（2 年以上前のことなので今は違うかもしれません）、最低 3 日から 1 週間ほどで発行される。韓国での生活が始まってすぐ学校のオリエンテーションがあり、その場で他の留学生と一緒に外国人登録証の申請を行った（手数料 3 千円）。

私の場合、銀行口座はオリエンテーションで開設したが特に使わなかった。また携帯電話も Wifi 環境でのみ使う形にし、韓国で契約しなかった。Wifi に関しては学校内や寮だけでなく、町やお店でも割と Wifi が繋がっているのもで特別困ったことはなかった。寮の部屋の位置によっては Wifi が繋がりにくい場合もあり、私はそのパターンだったのでコンビニに売っている Wifi を購入し（2 千円程度）部屋に設置した。

その他、学校の手続きに関しては期日を守り書類を提出したり支払いをすれば問題ない。留学生用の寮は 2 人部屋か 6 人部屋（2 人部屋が 3 つ）か選ぶことができ、タイプ別で費用が若干変わってくる。また住む日数により変わる。

【治安について】

人柄や町の様子など日本と何ら変わらない雰囲気、韓国の中でも光州は治安がいい地域だと思う。しかし韓国人は日本人に比べて歴史問題に問題意識を持っており、ソウルだけでなく光州でもデモや集会、慰安婦像などがあり日韓関係の溝の深さを感じる場面が多くあった。また、バスやタクシーに乗るとかなりのスリルがある。普通の道でも高速並みにスピードが出ており、歩行者優先というよりは車優先のような感じで身の危険を感じることもあったので、歩行する際は周囲をよく見て注意する必要がある。

【日常生活について】

キャンパス内には寮の他に、コンビニやカフェ、銀行、ATM、郵便局、書店、日常用品店、レストラン等がありキャンパス内でだいたいことは済ますことができる。キャンパス内には学生食堂が 2 つあり、1 食 300 円程度で食べられる。また学校周辺には学生街が多くあり、色々なお店があつて歩くだけでもとても楽しい。キャンパス内や学校周辺には多くの路線のバス停があり、市内やバスターミナルへのアクセスも良い。バスの利用料金は一律 135 円程度で、30 分以内に乗り換えれば追加料金無しで乗り放題である。交通カードを買ってチャージしておけば昇降時にかざすだけなので、とても便利である。高速バスの料金も距離のわりに格安で、ソウルまで 4 時間弱・釜山まで 3 時間半で 1800 円程度で利用できる。路線バスも高速バスも値段が安く本数も多いのでとても便利である。



ある日の昼食



食堂入り口



ある日の昼食 2

【寮について】

寮は登録した自分の指紋、または学生証で出入りする。寮には共同で使う電子レンジ、洗濯機・乾燥機等が備わっている。寮の部屋にはシャワーとトイレ、冷蔵庫、ベッド、机が備わっており、寒い時はオンドル（床暖房みたいなもの）、暑い時は冷房がつきとても快適だった。ベッドはマットレスだけしか備わっていないので、布団は現地で調達した（掛け・敷き合わせて 5 千円程度）。2 人部屋に住んでいたため、掃除がしやすく、またお風呂の時間が混むこともなく不自由なく暮らせた。月に一回部屋の点検があり、部屋が清潔に使われているかや、持ち込み禁止のものがいないかのチェックが行われた。ルームメイトは夏休みまでが 1 歳下のトルコ人で、夏休み期間中は 1 歳下の韓国人だった。同じ部屋で多くの時間を一緒に過ごし共同生活をすることによって、家族同様の濃い関係になれるので寮に住んで良かったと思う。



寮の外観



二人部屋の様子（入寮初日）



シートタイプの柔軟剤

【休暇について】

週末や夏休みには、光州だけでなくソウルや釜山、大邱、全州、麗水、順天等様々な都市へ遊びに行った。地方ごとに特色があって、韓国人の友達にローカルなところへ連れて行ってもらったり、日本人の友達と知らない場所を開拓したりして楽しんだ。また、各地方のローカルフードを食べて回り、どれもハズレがなく胃袋も完全に掴まれた。



EXO アンコン参戦



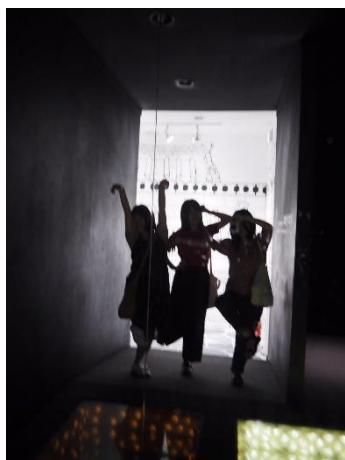
バディのお姉さんと♡



スイカのピンス

【日本人の繋がり】

同時期に留学していた日本人の交換留学生は自分を除き 4 人、語学堂に通っていた日本人の学生は 3 人だった。人数は決して多くはないが、日本の色々な地方から集まっており留学した経緯や生活ぶり、近況を共有し合い濃い時間が過ごせた。日本人の友達との情報共有はとても貴重なものだった。数名とは一緒に高校訪問をし、助け合いながら発表準備等をしたのでとても仲が深まり、帰国後に友達の地元である熊本で再会もした。今後は福井でも再会する予定である。



仲良く変なポーズ



ルームメイトと友達とお出かけ

留学で感じたこと

【習慣の違い】

韓国と日本を比べて大きな習慣の違いは感じなかった。日本人よりも人懐っこい印象で、困っていると手助けをしてくれる人が多いと感じた。ただゴミの分別や、食事マナー、お店の人やアルバイトの態度等、日本に比べてあまりきちきちしておらずゆるい雰囲気なのが韓国らしいと思った。また韓国人は起伏が激しいと言われ、とても喜怒哀楽が豊かである。特にみんなで盛り上がる時や、何かに反発する時の団結力がすごいと感じた。

またオンとオフの差が激しく、女子の場合はすっぴんとのギャップがすごい（笑）良くも悪くもととても人間らしくて、親しみやすい韓国人が私はとても好きである。

【社会の違い】

韓国人の中には日韓両国の歴史問題への問題意識を持っている人が多く、日本人としてどう考えているのか意見を聞かれることも多々あった。留学する前は漠然とした考えしか持っておらず返答に困ることもあった。日本のことが好きな韓国人も多くいる一方でまだまだ歴史認識の溝は深く、今でも日本に対し良くない感情を抱く人が少なからずいるということが気づきだった。市内の中心地や公共の場所で抗議運動をする人がいたり、ある中学校には慰安婦像が展示されていた。また私が日本人の友達とバスに乗っていた時に、酔っ払いのおじさんに日韓の問題について説教されたこともある……。自分の意見をちゃんと伝えられるように、留学前に日韓の歴史問題について知識を得ておくとういと思う。

留学前後での変化

重複になるが留学して色々な社会問題や、歴史問題に関心を持つようになった。ゼミの課題や卒論のネタ探しを行う上で、韓国のニュースを見たり新聞記事を読むうちに語学も向上し、知識も増えとても良い学びとなった。日韓に関連すること問題だけでなく、中国や台湾の情勢についてや他の国についても留学生の友達からたくさん教えてもらった。留学していなかったら知らなかった情報がたくさんあるので、良い経験となった。

今後この留学をどのように活かすか

まだまだ知らないことも多いが自分が留学して見聞きした情報を大事にし、日韓関係が最悪になっても民間人レベルでは両国の国民が助け合って仲良くできるように、偏見せずに自分の軸をちゃんと持っていきたいと思う。今後とも留学で出会った様々な国の友達との縁を大事にしていきたいと思う。

留学を終えての感想

念願だった韓国留学に行くことができ、好きなことを大好きな国で勉強できて幸せでした。毎日が刺激的で、正直帰国したくなかったくらいホームシックとは無縁でとても楽しい思い出がたくさんあります。留学して早2年経ちますが、人生において間違いなく記憶に残る出来事ベスト3に入るほど楽しくて貴重な経験ができました。言語は毎日生活していればすぐに慣れるし、初めから完璧な人はいないので間違えていたとしても自分の気持ちを伝える努力をすれば相手もそれに応えてくれるので、会話を怖がらずにどんどんチャレンジしていきましょう！韓国人はせっかち（？）な国民性があるので（むしろ日本人以外はほとんどそう？）、コールアンドレスポンスは素早くするとういと思います。意思疎通する上で返事がないと相手も困るので、間違えていたとしても何か意見を言うことが大

事だということを私も学びました。もう1回、いや何度でも留学したいです（笑）

まとめ

このレポートを通してたくさんの思い出を振り返ることができ、今はコロナで海外に行くことができないので留学していた頃の色々な気持ちを思い出し懐かしくなった。留学することはリスクもあるかもしれないが、きっと後になれば全部自分の成長に繋がるとても良い経験になるので、少しでも迷っている方がいたらぜひチャレンジしてみてほしいと思う。

